



市長 からの 手紙

70 少子化対策

少子化対策が、国および自治体における重要課題の一つになっています。平成27年から始まった地方創生の取り組みも、それぞれの市町村で人口減少に歯止めをかけ、地域経済の活性化を図るための事業計画(5か年計画)を立てるというものです。

川越市は、「川越市まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、人口減少に歯止めをかける目的の事業のひとつとして「縁結び川越」という事業を行っています。

これは、若い男女の出会いの仕掛けづくりとして、市内の大学に通う学生さんに調査検討してもらい、その意見を基に、市内の縁結びスポットなどを掲載した「縁結びマップ」を作成し、まち全体を縁結びのまちとして広くPRしてゆこうという事業です。すでに、「縁結びマップ」は完成し、現在頒布中です。

また、少子化対策に結び付く事業としては、婚活支援があります。市では、市民相談の一環

として川越市市民相談員協議会が主催する出会いの場の提供事業があります。フリートークを中心としたお見合いパーティーを行うもので、年4回開催しています。また、周辺7市町で構成する川越都市圏まちづくり協議会が主催する「レインボー婚活事業」があります。これは、幹事市町を中心とした、地域の魅力に触れられるような企画のお見合いパーティーです。

このほかにも、少子化対策の事業として各自治体が行っているのは、子育て環境を整備することです。具体的には、保育園の待機児童の解消の取り組み、こども医療費の無償化(全額公費負担)、就園費用の補助などです。

川越市の場合もそうですが、各自治体の少子化対策の取り組みは流入人口の獲得と出生率を上げるための対策が中心になっています。流入人口の獲得競争をしていたのでは、日本全体の人口減少に歯止めをかける効果は期待できません。国全体として出生率向上のための取り組みをしなければ人口減少に歯止めをかけ、人口増に逆転させることはできないように思われます。

なお、人口減少に歯止めをかける、という考え方の一方、ロボットや進化が加速している人工知能(AI)を活用することで、少子高齢化に伴う労働力不足の問題等の解決策にもつながる可能性があるとの議論もあるようです。

川越市長 川合 善明

運転免許の返納を 考えている方へ

ご存じですか？ シルバー・サポーター制度

埼玉県警では、高齢者の運転免許自主返納をサポートする「シルバー・サポーター制度」を実施しています。この制度は、同制度に協賛している事業所で「運転経歴証明書」を提示すると、タクシー代金や物品代金が割引になるなど、さまざまな特典が受けられる制度です。

運転経歴証明書は、運転免許証の有効期限までに自主的に免許を返納した場合、返納した日から5年以内であれば返納者本人が申請することで取得できます。申請は、運転免許センターや警察署で受け付

防犯・交通安全課 ☎224-5721 ☎224-6705

けています。また、同証明書は金融機関等の身分証明書としても使用できます。

協賛している事業所には、右の「高齢者運転免許自主返納ロゴマーク」が掲示されています。特典内容について詳しくは、ロゴマークのある事業所にお尋ねください。協賛事業所の一覧は、県警ホームページから確認できます。



問い合わせ…県警交通企画課 ☎048-832-0110